

お知らせ

記者発表日

令和5年5月10日

■同時発表先：岡山県政記者クラブ、倉敷記者クラブ、業界紙（山陽建設通信社、建通新聞社、日刊建設新聞社、建設日報、中建日報社）

<地域をつなぐ 要配慮者マイ・タイムライン> 災害時の避難支援についての動画完成試写会 住民や福祉関係の方々が出演

～H30.7豪雨から5年「逃げ遅れゼロ」を目指して真備町から発信～

平成30年7月西日本豪雨で甚大な被害を受けた岡山県倉敷市真備町では、地域住民や福祉関係者が中心となり、自らの経験から得た教訓や後悔から、「地域みんなで一緒に逃げる」（逃げ遅れゼロ）を目指して「地域連携型要配慮者マイ・タイムライン」の作成が進められています。

「地域連携型要配慮者マイ・タイムライン」とは、高齢者や障がいのある方など災害時に自分一人で避難することが難しい方々の避難について、要配慮者本人・家族、地域住民、福祉関係者など地域全体で考えていく取り組みです。

この取り組みには、日頃から要配慮者本人・家族、地域住民、福祉関係者などが繋がっていることが重要です。しかしながら、現在は地域の繋がりが希薄になりがちであるため、どのようにしたら地域が繋がれるのかのヒント、きっかけの一つになればと思い、動画作成を企画しました。

この度出水期を前に動画が完成しましたので、出演者や地域の方々を招き、完成試写会を開催します。

日時：令和5年5月16日（火）

10:00～11:00

場所：真備健康福祉会館3階 大会議室

出席者：出演者及び菅原 直樹 氏※（脚本）

動画では、真備町の住民やケアマネージャーなどに出演していただき、それぞれの経験や思いを取り入れた内容で、要配慮者本人・家族、地域住民、福祉関係者などが一堂に会する（繋がる）までを描きます。



なお、本動画は5月16日より当事務所ホームページで公開し、後日DVDを各所で無料配付の予定です。

※菅原 直樹 氏：劇作家、演出家、俳優、介護福祉士。「老いと演劇」OiBokkeShi主宰。
2010年より特別養護老人ホームの介護職員として勤務。2012年、東日本大震災を機に岡山県に移住
2014年「老いと演劇」OiBokkeShiを岡山県和気町にて設立し、演劇活動を再開。並行して、認知症ケアに
演劇的手法を 活用した「老いと演劇のワークショップ」を全国各地で展開している。

【問い合わせ先】

国土交通省中国地方整備局 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所

副所長 今井 浩二（いまい こうじ）

建設専門官 黒江 哲也（くろえ てつや）

☎ 代表 086(697)1020